

設 計	検 算	係 長	課長補佐	課 長	副部長	部 長
					斜線	斜線

令 和 7 年 度

道 路 事 業

下 知 14 号 線 測 量 設 計 委 託 業 務 見 積 參 考 資 料

- ・見積参考資料は入札参加業者の迅速で適正な業務費の見積りのための一資料であり、業務委託契約を拘束するものではない。
- ・入札においては見積参考資料に記載された事項を最優先するものとし、その他の閲覧資料との表示に違いがある場合においても、入札の公正性が確保される範囲で入札事務を継続するものとする。
- ・見積参考資料に記載されている積算に関する事項については、契約後、必要に応じて業務委託契約書の規定に基づき、協議を行う場合がある。

業務場所	高知市	若松町外
業務日数	120	日間

道 路 整 備 課

設計金額	円	業務委託理由
内 訳	業 務 価 格 消 費 稅 及 び 地 方 消 費 稅 相 当 額	円 本業務は、下知14号線において、舗装修繕及び排水構造物の改修を実施することで、安全で快適な道路環境の向上を図ることを目的とし、必要な測量及び設計を実施するものである。
委託業務対象金額	円	業務の大要
消費税及び地方消費税相当額抜きの 委託業務対象金額	円	別紙のとおり
摘要		

(別紙)

業務の大要

下知14号線 (L=0.9km, W=7.9~8.1m)

測量業務

○基準点測量

- ・4級基準点測量 N= 8 点

○現地測量

- ・現地測量 (A=0.004km²) 1 業務
- ・平面補足測量 (A=0.007km²) 1 業務

○路線測量

- ・作業計画 1 業務
- ・中心線測量 L= 0.9 km
- ・仮BM測量 L= 0.9 km
- ・縦断測量 L= 0.9 km
- ・横断測量 (測点間隔20m) L= 0.9 km

設計業務

○設計協議

- ・打合せ (中間1回) 1 業務

○道路改良設計

- ・道路改良設計 L= 0.9 km

委 託 費 內 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘要
測量設計費					
測量業務					
基準点測量					
4級基準点測量	式	1			明細表 第1号
現地測量					
現地測量	式	1			明細表 第2号
路線測量					
路線測量	式	1			明細表 第3号
電子成果品作成費	式	1			

委 託 費 內 訳 表

委 託 費 内 訳 表

費目・工種・細別等	単 位	数 量	単 価	金 額	摘要
設計業務					
設計協議					
設計協議	式	1			明細表 第4号
道路設計					
道路改良設計	式	1			明細表 第5号
直接経費					
旅費交通費率分	式	1			
電子成果品作成費	式	1			
直接原価					
その他原価	式	1			

委 託 費 內 訳 表

委 託 費 內 訳 表

明細表 第 1号
4級基準点測量

明細表

明細表 第 2号
現地測量

明細表

明細表 第 3号
路線測量

明細表

明細表 第 4号
設計協議

明細表

明細表 第 5号
道路改良設計

明細表

単価表 第 1号	4級基準点測量(木杭)	単価表			(35)
金額 :	内容 : 都市近郊, 平地, 伐採なし				1 点 当り
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	摘要
測量主任技師	人	1			[1][2] 人件費 $8.0 \times (1+\text{変化率})$
測量技師	人	8			[1][2] 人件費 $8.0 \times (1+\text{変化率})$
測量技師補	人	8			[1][2] 人件費 $8.0 \times (1+\text{変化率})$
測量助手	人	8			[1][2] 人件費 $8.0 \times (1+\text{変化率})$
機械経費 2.5 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			[2]
通信運搬費等 2.5 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
材料費 2 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
精度管理費 9 % 対象額は摘要欄[2]の計	式	1			
	(35	点 当り)	
	(1	点 当り)	

单值表 第 1号

4級基準點測量(木杭)

单值表

(35)

金額：

内容：都市近郊，平地，伐採なし

1 点 当り

単価表 第 2号	現地測量	単価表	(1)
金額 :	内容 : 都市近郊 , 平地 , 縮尺=1/500 , A=0.0040 km ²		1 業務 当り
名称・規格・条件	単位	数量	単価
測量主任技師	人	0.112	
測量技師	人	3.422	
測量技師補	人	6.473	
測量助手	人	3.05	
機械経費 5 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1	[2]
通信運搬費等 0.5 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1	
材料費 2 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1	
精度管理費 5 % 対象額は摘要欄[2]の計	式	1	
	(1	業務 当り)
*** 施工条件 *** 地域による分類 : 都市近郊 地形による分類 : 平地			

单值表 第 2号

現地測量

单価表

(1)

金額：

内容：都市近郊，平地，縮尺=1/500，A=0.0040 km²

1 業務 当り

単価表 第 3号	平面補足測量	単価表			(1)
金額 :	内容 : 都市近郊 , 平地 , 縮尺 = 1/500 , A = 0.007 km ²			1 業務 当り	
名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量主任技師	人	0.6			[1] 人件費
測量技師	人	1.8			[1] 人件費
測量技師補	人	1.8			[1] 人件費
測量助手	人	3.0			[1] 人件費
機械経費 5 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
通信運搬費等 2.5 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(1	業務 当り)	

単価表 第 4号	作業計画	単価表			(1)
金額 :	内容 :				1 業務 当り
名称・規格・条件	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量主任技師	人	0.6			人件費
測量技師	人	0.9			人件費
測量技師補	人	0.6			人件費
	(1)	業務 当り)

単価表 第 5号	中心線測量	単価表			(1)
金額 :	内容 : 都市近郊, 平地, 測点間隔20m, 1,000~3,000台未満/12時間, 換算曲線数2			1 km 当り	
名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量技師	人	5.59			[1][2] 人件費 4.3 × (1+変化率)
測量技師補	人	5.98			[1][2] 人件費 4.6 × (1+変化率)
測量助手	人	2.86			[1][2] 人件費 2.2 × (1+変化率)
機械経費 4 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			[2]
材料費 5.5 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
精度管理費 10 % 対象額は摘要欄[2]の計	式	1			
	(1	km 当り)	
*** 施工条件 ***					
地域による分類		都市近郊			
地形による分類		平地			
測点間隔		測点間隔20m			
交通量の現地条件		1,000~3,000台未満/12時間			
単曲線換算曲線数		換算曲線数2			
作業地域の重複		作業地域が1つ			

単価表 第 6号	仮BM設置測量	単価表			(1)
金額 :	内容 : 都市近郊, 平地, 1,000~3,000台未満/12時間			1 km 当り	
名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	摘要
測量技師	人	1.82			[1][2] 人件費 1.4 × (1+変化率)
測量技師補	人	2.99			[1][2] 人件費 2.3 × (1+変化率)
測量助手	人	1.56			[1][2] 人件費 1.2 × (1+変化率)
機械経費 2.5 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			[2]
材料費 2 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
精度管理費 10 % 対象額は摘要欄[2]の計	式	1			
	(1	km 当り)	
*** 施工条件 ***					
地域による分類		: 都市近郊			
地形による分類		: 平地			
交通量の現地条件		: 1,000~3,000台未満/12時間			
作業地域の重複		: 作業地域が1つ			

単価表 第 7号 縦断測量		単価表			(1)
金額 :	内容 : 都市近郊, 平地, 1,000~3,000台未満/12時間			1 km 当り	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	摘要
測量技師	人	3.77			[1][2] 人件費 2.9 × (1+変化率)
測量技師補	人	3.77			[1][2] 人件費 2.9 × (1+変化率)
測量助手	人	2.47			[1][2] 人件費 1.9 × (1+変化率)
機械経費 2.5 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			[2]
材料費 3 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
精度管理費 10 % 対象額は摘要欄[2]の計	式	1			
	(1	km 当り)	
*** 施工条件 ***					
地域による分類	: 都市近郊				
地形による分類	: 平地				
交通量の現地条件	: 1,000~3,000台未満/12時間				
作業地域の重複	: 作業地域が1つ				

単価表 第 8号	横断測量	単価表			(1)
金額 :	内容 : 都市近郊, 平地, 測点間隔20m, 幅45m~75m未満, 1,000~3,000台未満/12時間, 換算曲線数2			1 km 当り	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	摘要
測量技師	人	13.39			[1][2] 人件費 10.3 × (1+変化率)
測量技師補	人	13.78			[1][2] 人件費 10.6 × (1+変化率)
測量助手	人	8.84			[1][2] 人件費 6.8 × (1+変化率)
機械経費 2.5 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			[2]
材料費 2.5 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
精度管理費 10 % 対象額は摘要欄[2]の計	式	1			
	(1	km 当り)	
*** 施工条件 ***					
地域による分類		都市近郊			
地形による分類		平地			
測点間隔		測点間隔20m			
測量幅		幅45m~75m未満			
交通量の現地条件		1,000~3,000台未満/12時間			
単曲線換算曲線数		換算曲線数2			
作業地域の重複		作業地域が1つ			

单価表 第 9号 打合せ

金額： 内容：中間打合せ:1回

单価表

(1)

1 業務 当り

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師	人	1.5			人件費
技師(A)	人	1.5			人件費
技師(B)	人	1.5			人件費
	(1	業務 当り)
*** 施工条件 ***					
中間打合せ回数 : 中間打合せ:1 回					

単価表 第 10号	道路改良設計	単価表	(1)		
金額 :	内容 : 設計計画及び施工計画, 現地踏査, 平面縦断計画, 横断計画, 仮設構造物・用排水設計, 設計図作成, 数量 計算, 照査, 報告書作成		1 km 当り		
<hr/>					
名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	摘要
理事・技師長	人	0.5			[1] 人件費
主任技師	人	3.0			[1] 人件費
技師(A)	人	7.0			[1] 人件費
技師(B)	人	10.0			[1] 人件費
技師(C)	人	13.75			[1] 人件費
技術員	人	9.25			[1] 人件費
電子計算機使用料 2 % 対象額は摘要欄[1]の計	式	1			
	(1	km 当り)	

諸 経 費 計 算 情 報

単価適用年月日	令和 7年10月 1日
単価適用地区	高知土木事務所 1 地区(南部地区)
■測量業務	
業務委託料の積算	建設コンサルタントに委託する場合
電子成果品作成費	計上する
安全費地域	計上しない
安全費率	0.00
旅費交通費の率計上有無	計上する
業務区分	測量業務
まるめ区分	万円まるめ (業務価格100万円以上)
■設計業務	
業務委託料の積算	建設コンサルタントに委託する場合
電子成果品作成費	計上する
設計書の種類	概略、予備、詳細設計

諸 經 費 計 算 情 報

旅費交通費の率計上有無	計上する
業務区分	設計業務
まるめ区分	万円まるめ（業務価格100万円以上）

下知 14 号線測量設計委託業務 特記仕様書

第1条 適用

本仕様書は、高知市（以下「甲」という。）が受注者（以下「乙」という。）に委託する「下知 14 号線測量設計委託業務」（以下「本業務」という。）に適用する。

第2条 目的

本業務は、下知 14 号線において、路盤の改良を伴う舗装修繕及び排水構造物の改修を実施することで、安全で快適な道路環境の向上を図ることを目的とし、必要な測量及び設計を実施するものである。

第3条 法令等の遵守

本業務の履行に際しては、本業務特記仕様書、「高知県土木設計等業務共通仕様書」、「高知県測量業務共通仕様書」に基づき実施しなければならない。

ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針等は改定された最新のものとする。なお、業務途中で改定された場合はこの限りでない。

第4条 疑義

本業務の履行に際しては、本業務契約書及び本業務特記仕様書等に定めなき事項が生じた場合は、甲乙協議により決定するものとする。

第5条 業務場所

高知市 若松町外（高知市道 下知 14 号線 $L = 0.9\text{km}$ ）

第6条 業務内容

1 測量業務

下知 14 号線の業務対象範囲において、現地測量及び路線測量を行う。なお、業務対象範囲における既存の測量成果を貸与する。

（1）基準点測量

・4 級基準点測量 $N = 8$ 点

（2）現地測量

・現地測量 ($A = 0.004\text{km}^2$) 1 業務
・平面補足測量 ($A = 0.007\text{km}^2$) 1 業務

（3）路線測量

・作業計画 1 業務
・中心線測量 $L = 0.9\text{km}$

- ・仮 BM 測量 $L = 0.9\text{km}$
 - ・縦断測量 $L = 0.9\text{km}$
 - ・横断測量 $L = 0.9\text{km}$

2 設計業務

下知 14 号線の業務対象範囲において、排水構造物（L型側溝）及び舗装の更新を行うため、必要な設計を行う。排水構造物の設計においては、路面に滞水しないように排水構造物の比較選定を行い、隣接宅地への乗入れを考慮した設計を行うこと。また、舗装の更新においては、甲が実施した路面性状調査結果をもとに最適な舗装構成を比較選定し設計を行うこと。

(1) 設計協議

- ## ・打合せ（中間 1 回） 1 業務

（2）道路改良設計

- ## • 道路改良設計 $L = 0, 9\text{km}$

第7条 管理技術者

管理技術者は、本業務の技術上の管理を行うに必要な能力及び経験を有し、かつ次のいずれかに該当する者とする。

(1) 技術士法（昭和 58 年法律第 25 号）による技術士とし、次のいずれかの要件を満たす者とする。

ア 建設部門で選択科目を「道路」とする。

イ 総合技術監理部門で選択科目を「建設で道路」とする。

(2) 一般社団法人建設コンサルタンツ協会が実施するシビルコンサルティングマネージャ (RCCM) 資格試験に合格し、同協会に備える「RCCM 登録簿」に登録されている者とし、専門部門を「道路」とする。

(3) 建設コンサルタント登録規程第3条第1号のロの規定により大臣が認定した者とし、専門部門を「道路」とする。

2 管理技術者は、本業務が完了するまで原則として変更できない。傷病、死亡、退職等やむを得ない理由により変更する場合は、同等以上の技術力を有する者を配置し、甲の了承を得なければならない。

第8条 照査技術者及び照査の実施

1 照査技術者は、管理技術者と同等以上の資格及び技術力を有するものでなければならない。また、照査技術者は、管理技術者と同一の者が兼務することはできない。

2 本業務における基本事項の照査は、「詳細設計照査要領」に基づき実施するものとする。また、同要領に基づき作成した資料は設計業務共通仕様書第1108条に規定する照査

報告書に含めて提出するものとする。

3 詳細設計においては、成果物をとりまとめるにあたって、設計図、設計計算書、数量計算書等について、それぞれ及び相互（設計図－設計計算書間、設計図－数量計算書間等）の整合を確認するうえで、確認マークをするなどして分かりやすく確認結果を示し、間違いの修正を行うための照査（以下「赤黄チェック」という。）を原則として実施するものとする。

なお、赤黄チェックの資料は、監督職員の請求があった場合は速やかに提示しなければならない。

4 照査技術者は、成果物納入時の照査報告の際に、赤黄チェックの根拠となる資料を甲に提示するものとする。

第9条 打合せ等

打合せは、業務着手時、中間打合せ1回及び成果品納入時の合計3回とし、管理技術者と監督職員が行うものとする。

第10条 資料の貸与及び返却

1 貸与する関係資料は、以下のとおりとする。

- (1) 港高潮（防）第3-14号 高知港海岸（高潮）陸こう測量設計委託業務 成果品
(平成24年度 高知県高知土木事務所発注)
- (2) 下知14号線路面性状調査委託業務 成果品
(令和4年度 高知市道路整備課発注)

第11条 成果品

1 提出する成果物は、下記のとおりとする。

- ・成果報告書（簡易製本版） 2部
- ・成果図面（縮小版A3サイズ） 2部
- ・電子媒体（CD-R）正副 各1部

下知 14 号線測量設計委託業務 数量総括表

作業項目	規 格	数量	単位
測量業務			
基準点測量			
4 級基準点測量 (木杭)	都市近郊、平地、伐採なし	8	点
現地測量			
現地測量	都市近郊、平地、縮尺=1/500、A=0.004km ²	1	業務
平面補足測量	都市近郊、平地、縮尺=1/500、A=0.007km ²	1	業務
路線測量			
路線測量			
作業計画		1	業務
中心線測量	都市近郊、平地、測点間隔 20m、 1,000～3,000 台未満/12 時間、 換算曲線数 2	0.9	km
仮 BM 測量	都市近郊、平地、 1,000～3,000 台未満/12 時間	0.9	km
縦断測量	都市近郊、平地、 1,000～3,000 台未満/12 時間	0.9	km
横断測量	都市近郊、平地、測点間隔 20m、 1,000～3,000 台未満/12 時間、 換算曲線数 2	0.9	km
設計業務			
設計協議			
打合せ	中間打合せ 1 回	1	業務
道路改良設計			
道路改良設計		0.9	km

位置図

